2012年8月13日

SIPS MP-T　運営委員　各位

（株）データ･アプリケーション

藤野　裕司

8月8日（水）午後　SIPS MP-T運営委員会　議事メモ

１．MP-Tで検討すべき内容

(1)ITベンダー各社のビジネスチャンス

　＊どんなビジネスをしたいのか？　→　希望を聞く

　＊具体的にどのようなソリューションやサービスが考えられるか？

　　・企業向けEDIのSI

　　・ソリューション／サービス提供（SIer、VAN/ASP）

　　・パッケージ販売（企業向け、VAN/ASP向け）

　　・EDIのアウトソーシング（委託企業の顔をした一括丸抱え）

　＊想定するビジネス対象

　　①海外進出を狙う国内企業のサポート

　　②海外に進出している日本企業のサポート

　　③日本進出を狙う外資系企業のサポート

　　④海外で独自にビジネスを展開

(2)グローバルEDIのニーズ調査

　＊本当にグローバルEDIのニーズはあるのか？

　　・現状を是とすると必要はない

　　・30年前の日本国内EDIのニーズと同じではないか？

　＊ヒアリング先は目的により対象部門が異なる

　　・CEDIではヒアリング先に応じた内容のヒアリングシートを作る。

　　・技術的な内容はSIPSで受ける

(3)SIPSに加入するメリット　←　【藤野の勝手な思いつき】

　＊ITベンダーが独自に調査や事業展開をするよりSIPSに加盟した方が

メリットがあることを明確化

２．海外との接続パターン[別紙参照]

[前提]

・国内企業と海外企業がビジネスをするためのITサポートを対象とする

・海外企業とのビジネスサポートは対象外

(1)日本国内から海外に接続するためのパターン

＜8/8の話を藤野がもう少し細分化してみました。ご確認をお願いします＞

　　　[A]：自社の責任範囲（自社内・自社センター内）

　　　[B]：自社専用のアウトソーシング（外部管理のデータセンター等）

　　　[C]：外部サービス利用（汎用ASPサービス）

1. [A]業務システム[A]EDIシステム→海外接続（直接orVAN経由）

　　　自社で社内業務システムもEDIシステムも持ち自社で運用をしている

　②[A]業務システム→[B]EDIシステム→海外接続（直接orVAN経由）

　　　自社で業務システムを持ち、EDIシステムは外部に自社専用アウトソースしている

1. [A]業務システム→[C]EDIシステム→海外接続（直接orVAN経由）

　　　自社で業務システムを持ち、EDIシステムは外部の汎用ASPシステムを利用している

　④[B]業務システム[B]EDIシステム→海外接続（直接orVAN経由）

　　　業務システム・EDIシステムとも外部に自社専用ストソースしている

　⑤[B]業務システム→[B]EDIシステム→海外接続（直接orVAN経由）

　　　業務システム・EDIシステムとも外部に自社専用アウトソースしているが

　　　異なるベンダーで、システム間はネットワーク接続されている

　⑥[B]業務システム→[C]EDIシステム→海外接続（直接orVAN経由）

　　　業務システムは外部に自社専用アウトソースしているが、EDIシステムは外部の

　　　汎用ASPシステムを利用している

　⑦[C]業務システム[C]EDIシステム→海外接続（直接orVAN経由）

　　　業務システムもEDIシステムも外部の同一汎用ASPを利用している

　⑧[C]業務システム→[C]EDIシステム→海外接続（直接orVAN経由）

　　　業務システムもEDIシステムも外部の汎用ASPシステムを利用するが

　　　異なるベンダーで、システム間はネットワーク接続されている

(2)海外での接続パターン

　＊海外企業は、必ずEDIシステムを特定のEDIベンダーにアウトソースし、

　　直接自社システムから他企業とEDIを行うことはないという前提

　＊ただし、相手先との関係から別のVAN会社経由というパターンはある

以上